

令和8年6月8日

令和8年6月池田町議会定例会 町長あいさつ

池田町長 矢口 稔

【要約】

国内外・県内の情勢

○米国とイランの対立によりホルムズ海峡が事実上閉鎖され、石油製品の値上がり・品不足が懸念される。

○長野県経済は「一部に弱めの動きがあるものの、持ち直している」状況（日銀松本支店）。

生活・物価高対策

○指定ごみ袋の値上げ・品薄が続いていたが回復傾向。買い占めを控えるよう呼びかけ。

○国の補正予算（R8年度第1号）が成立し、地方創生臨時交付金が1,000億円増額。確定次第、速やかに対策を実施予定。

○「ただいま★いけだまち しあわせ商品券」の利用率は87.43%（8,127万9千円換金済）。

子育て支援・人口減少対策

○「ただいま★いけだまち」スローガンのもと、子育て支援・移住促進の制度見直しを継続。

○「かえで広場」大型遊具が4月に完成し、町内外から多くの利用者。

○民間保育園「野あそび保育あいそめ」が4月開園。こども家庭センター「にこまる」とも連携し、子育て環境を充実。

イベント・地域活性化

○酒蔵まつり2026（5/30開催）：約3,000名が参加。バスロケーションシステムなどDX活用が好評。

○いけだまちハーブウィーク2026：先週末より開幕中。

○ふるさと大使：医学博士・南雲吉則氏を第1号大使に任命（6/7）。全国への情報発信強化。

今後の主な取り組み

1. **ゆるキャラ「てるみん・ふ〜みん」の町有化**：24年間育てられてきたキャラクターを町が直接管理し、グッズ開発等でPR強化。
2. **デマンドバスの試験運行**：8月より3か月、予約制の巡回バスを実証実験。高齢者等の移動手段確保が目的。
3. **市民農園の活用拡大**：利用料引き下げで利用促進。移住・定住施策とも連携し「農ある暮らし」をアピール。

## 財政状況

- 公共施設等整理基金に2億4,600万円、減債基金に3,000万円を積み増し。
- 基金合計はR8年3月末現在で約29億4,100万円と前年度とほぼ同水準。

## 結び

- 町人口は8,926人・4,095世帯（6月1日現在）。
- 人口減少に対応しながら交流・関係人口を増やし、「選ばれるまち・戻ってきたいまち」を目指す。
- 今議会の提出議案は報告・承認13件、条例改正5件、補正予算1件の計19件。

---

## 【本文】

6月定例会の開会に当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

6月議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には大変お忙しい中、御出席をいただき、御礼を申し上げます。

### ■はじめに

ようやく昨日、県内の梅雨入りが気象庁から発表され、町内各地では「花とハーブの町」を代表するカモミールやラベンダーが咲き誇る季節を迎えました。

### ■国内外の情勢について

国内外の情勢を見てみますと、米国とイランの対立のスカレートにより、ホルムズ海峡が事実上閉鎖されています。その結果、石油製品の値上がりや品不足が現実的になっております。世界全体への影響も大きいことから、早急の停戦及び恒久的な平和に向けた動きを期待するところであります。

### ■県内の情勢について

県内の経済動向につきましても、日銀松本支店が毎月発表している長野県の金融経済動向（6月4日発表）では、「長野県経済は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。」としています。最終需要の動向をみると、「設

備投資は一部に弱めの動きがみられるものの、堅調に推移している。また、個人消費は物価上昇の影響などがみられるものの、底堅く推移している。住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は振れを伴いつつも横ばい圏内の動きとなっている。この間、生産は持ち直している。雇用・所得は改善している。」としています。今後も、様々な経済指標を参考にしながら、施策に活かしてまいります。

#### ■燃えるゴミ袋の状況と冷静な対応を

さて、町の動きといたしまして、生活に身近な課題としてゴミ袋の値上げ及び品不足があります。町の指定ごみ袋も6月からの値上げ等の影響もあり、一時的に欠品や品薄状態が続いておりましたが、現在では徐々に回復しております。町民の皆様におかれましては、冷静な対応をお願いするとともに、少しでも多くの皆様に行き渡るよう、買い占め等のご遠慮いただきますようお願いするところでもあります。

#### ■物価高騰対策

物価高騰対策につきましては、国において6月5日に令和8年度補正予算(第1号)が成立し、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を1000億円増額することとなりました。町としても町への交付金額が確定次第、速やかに対策に取り組んでまいり所存です。また、先月末まで、「ただいま★いけだまち しゃあわせ商品券」を発行して多くの皆様にご利用いただきました。まだ数字的には動いておりますが、速報値として、6月5日現在、8127万9000円の換金があり、利用率は87.43%となっております。

今後も物価高騰対策については、国の支援を受けながら、より効果的な方法で町民の皆様が暮らしやすい施策を引き続き検討してまいります。

#### ■子育て支援、人口減少対策

次に、子育て支援や人口減少対策について申し上げます。

人口減少対策スローガン「ただいま★いけだまち」を昨年1月に制定し、そのスローガンを身近に感じていただき、子育てしやすく、移住された方も安心して暮らせる町づくりを目指して、引き続き要綱等の改正や制度の見直しを迅速に進めてまいります。

#### ■かえで広場の遊具が盛況

4月に交流センターかえで西側の「かえで広場」の大型遊具が完成し、連日多くの子どもたちや、保護者の皆さまなど世代を超えて利用をいただいております。町外から利用される方もおり、町の新しいシンボルとして利用いただくとともに、わかりやすい駐車場看板の設置など、安全で誰でも利用できるよう、利用の促進を図ってまいります。

#### ■民間保育園との連携について

同じく4月に開園した民間保育園「野あそび保育あいそめ」も順調な運営を行っていただいているとお聞きしています。先月には池田保育園の子どもたちとの交流が行われるなど、池田町の教育大綱「こどもがまんなか」をお互いのこども園で共有していただいているものと感じています。今後も職員同士の交流など活発な相互交流を期待するところです。また、こども家庭センター「にこまる」との連携を通じて、誰でも通園制度への対応や子育ての相談など、池田町だからできる、楽しく子育てができる環境を作ってまいります。

#### ■各種イベントの状況

各種イベントや新しい取り組みについて申し上げます。

#### ■ あづみ野いけだまち酒蔵まつり 2026

去る5月30日に開催いたしました「あづみ野いけだまち酒蔵まつり2026」は、当日恵まれた天候のもと、大雪溪酒造会場、福源酒造会場それぞれで開催し、昨年を上回る約3,000名の皆さまにご参加いただき、盛況のうちに幕を閉じることができました。ご参加いただいた皆さま、そして実行委員会をはじめ準備・運営にご尽力いただいたすべての関係者の皆さまに、この場を借りて心より御礼を申し上げます。

今年は特筆すべき取り組みとして、独自のアプリを開発し、バスロケーションシステムを導入いたしました。参加者がリアルタイムでバスの運行状況を確認できるこの仕組みは、来場者からも大変好評をいただきました。こうしたDX技術の活用が、にぎわいの質を高めることに確かに貢献したと感じております。この経験と成果を、今後のイベント運営にも活かしてまいります。

---

#### ■ いけだまちハーブウィーク 2026

先週末からは、新たな取り組みとして「いけだまちハーブウィーク2026」が開幕しています。「花とハーブの里・池田町」の魅力を凝縮した期間として、町内外から多くの方々にお越しいただきたいと願っております。議員の皆さまにも、ぜひ積極的にご参加・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

---

#### ■ ただいま★いけだまちふるさと大使に南雲吉則氏

昨日、6月7日には、池田町交流センター「かえで」におきまして、「ただいま★いけだまちふるさと大使」第1号の任命式及び記念講演会を開催いたしました。

第1号大使として任命いたしましたのは、医学博士・南雲吉則氏です。南雲先生とのご縁は平成28年12月に遡り、当時から池田町とのつながりを大切にしてくださいっています。昨日の記念講演「ハーブと健康長寿で日本一のまちづくり」には、定員80名の会場に多くの町民の皆さまがお集まりくださいました。「ふるさと大使」という新しい絆を通じて、池田町の魅力を全国へ発信する新たな力を得ることができたと確信しております。引き続き、南雲大使とともに「ただいま★いけだまち」のスローガンのもと関係人口の創出を進めてまいります。

---

## ■今後の取り組みについて

次に、今後取り組む主な事業について3点に絞って申し上げます。

### ① ゆるキャラ「てるみん・ふ～みん」の町有化

池田町が誇るゆるキャラ「てるみん・ふ～みん」を、本年度から町が直接管理・運営する、いわゆる「町有化」を進めてまいります。

てるみん・ふ～みんは、これまで池田町商工会の皆さまに長年にわたって大切に育てていただいていたキャラクターです。今年でなんと24歳を迎えます。四半世紀近く、池田町とともに歩んできた存在です。商工会の皆さまには、これまでのご尽力に対し、改めて深く感謝を申し上げます。

町有化にあたっては、これまでの歩みと愛着を大切にしながら、さらに磨きをかけ、より多くの方に愛されるキャラクターへと成長させていきたいと考えています。また、グッズの開発にも積極的に取り組み、てるみん・ふ～みんを活用した情報発信や交流人口の拡大につなげてまいります。24年間の「蓄積」を、これからの池田町の「推進力」に変えていく、そういう気持ちで取り組みを進めてまいります。

### ② 町内巡回バスのデマンド方式による試験運行

交通施策として、町内巡回バスを一時休止し、デマンド方式を導入したバス実証実験を8月より3か月限定で実施してまいります。

現在の定時・定路線型のバス運行では、利用者のニーズに十分お応えできていない部分があることも事実です。デマンド方式は、あらかじめ予約をいただいた上で、必要なときに必要な場所へ運行する仕組みです。特に、自家用車の運転が難しくなってきた高齢者の皆さんや、日常の買い物・通院に不便を感じている方々にとって、生活の足を確保するうえで大きな意義を持つ取り組みです。実証実験を通じて課題を丁寧に検証し、本格導入に向けた検討を進めてまいります。

### ③ 市民農園のさらなる活用と移住定住施策への展開

市民農園につきましては、利用料の引き下げをはじめとする見直しを行い、より多くの町民の皆さんが気軽にご利用いただける環境を整えてまいります。

近年、「農ある暮らし」への関心は全国的に高まっています。池田町は、豊かな自然環境のもと、まさにそのニーズに応えられる条件が整ったまちです。市民農園は単なる「農地の貸し出し」にとどまらず、農業を通じた交流の場、地域への愛着を育む場として、移住・定住を考えている方々への魅力的なアピールポイントにもなり得ます。「まず農園を使ってみて、池田町が好きになった」—そういう入口としての役割も、この事業に期待しています。移住定住施策と有機的に結びつけながら、池田町に暮らす豊かさを発信してまいります。

---

## ■財政状況について

財政状況について触れさせていただきます。

本定例会では、令和7年度の一般会計補正予算の最終専決の承認議案を予定しておりますが、各種基金への積立てとして、公共施設等整理基金に2億4千600万円、減債基金に3,000万円を積み増し、各基金利子等を含めて合計で2億8,100万円余りを追加することができました。昨年度は減債基金を中心に多額の基金取り崩しがあったものの、基金合計は、令和8年3月末現在、29億4,100万円余りと昨年度とほぼ変わらない金額となっております。引き続き、歳出の削減と歳入の増加を目指し、安定した財政運営を行ってまいります。

## ■ 結びに

以上、諸般の状況とこれからの主な取り組みについて申し上げます。

池田町の人口は、6月1日現在で8,926人、4,095世帯となっております。人口減少という大きな課題と向き合いながら、交流人口・関係人口を着実に増やし、選ばれるまち・戻ってきたいまちとして池田町を育てていくことが、私たちに課された使命です。

今後も、暮らしやすく、住み続けたいくなる施策を打ち出してまいります。施策の導入に当たり、議会の皆様の御意見をいただきながら丁寧な説明を心がけてまいります。

今議会に提案いたします議案は、報告、承認案件13件、条例改正案件5件、補正予算案1件の合計19件です。提案した議案については十分に御審議いただき、御決定いただきますようお願いを申し上げます。

以上をもちまして、6月議会定例会の開会のあいさつとさせていただきます。